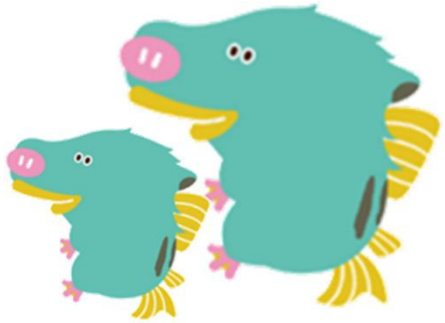


矢作川流域圏懇談会のゆるキャラ
「はぎぼう」

資料1

第16回　川部会まとめの会
今期の振り返りと来期の活動目標

1. 矢作川流域圏懇談会とは

【懇談会の目的・運営方針】

懇談会の目的

- 矢作川流域圏に関係する各組織のネットワーク化を図る
- 流域圏一体化の取り組み及び矢作川の河川整備に関わる情報共有・意見交換を図る

懇談会の運営方針

（1）市民部会の活動の活発化

- 組織のあり方を見直し、市民部会主体の勉強会やイベントの計画を行う。

（2）流域の課題解決に向けて具体的な行動を積極的に行う

- 課題解決に向けた山・川・海部会の積極的な議論と交流を実施する。
- 勉強会やイベント等を通し、山・川・海部会の関係者が協働する。

（3）河川整備計画のフォローアップ

- 「河川整備に関わる情報共有・意見交換」の取り組みを全体会議で共有し、意見交換を行う。

2．今期の活動実績（R5.4.1～R6.11.30）

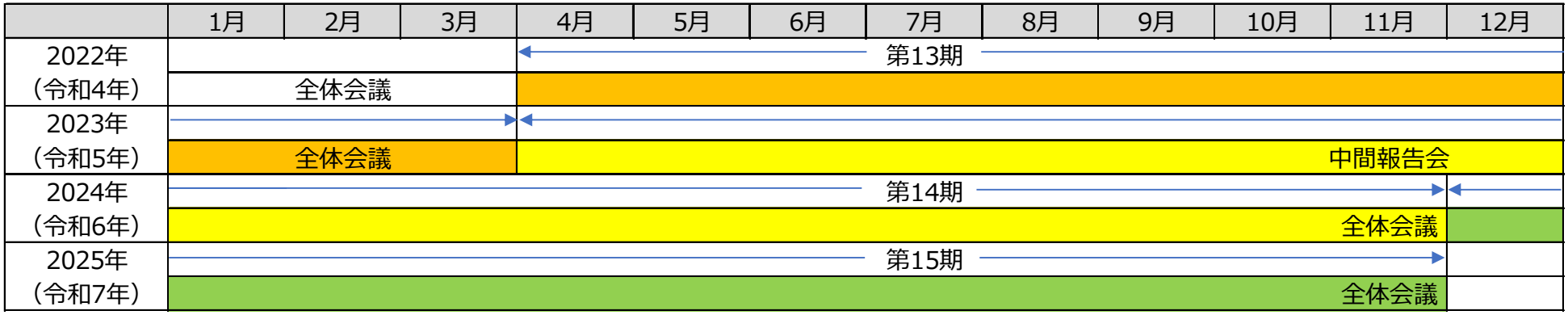
【今期からの変更点】

期による整理

例年は年度末に実施する全体会議を区切りとして年度ごとの目標を設定していた。

今期より11月に全体会議を実施するため12月1日～翌年11月30日を1つの期として整理する。今年は設立から 15 年目となるが昨年（14 年目）は中間報告会としているため、第 14 期として整理する。

第 13 期：令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日（昨期）
第 14 期：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 11 月 30 日（今期）
第 15 期：令和 6 年 12 月 1 日～令和 7 年 11 月 30 日（来期）



2．今期の活動実績（R5.4.1～R6.11.30）

【第14期（R5.4.1～R6.11.30）の活動目標】

山・海・まちをつなぐ河川としての役割を認識し、他部会や外部団体を巻き込みつつ、行政や市民団体などが参加したくなるような部会を創造する。

＜テーマ＞	＜活動目標＞
河道に関する課題（本川・支川）	○ 上流から海までを繋ぐ役割として、上下流共通の課題である土砂問題や生き物の棲みやすい川づくりについて、情報共有および意見交換を行う。
流域に関する課題	○ 川まちづくりに関与する行政や関係機関から矢作川流域内で取り組んでいるプロジェクトについて、情報共有していただく。 ○ 流域の課題を防災面・社会面から整理し、行政や市民団体などが参画できる場を創出する。
交流に関する課題	○ 川を通して人と人の繋がりを広げるため、本部会がプラットフォームとして機能することを目指し、外部団体（生態系ネットワーク協議会等）との連携を深める。

2．今期の活動実績（R5.4.1～R6.11.30）

テーマ別の活動目標に対する活動計画について（テーマ①河道、②流域、③交流・共有）

○テーマ別の活動目標に対し、目標達成に向けた活動計画を策定していくため、3つのテーマに関する課題、アイデア、提案等の意見を付箋紙に記し、出てきた意見についてカテゴリー分けを行った。これらのカテゴリーを踏まえ、今後の活動計画や方針、課題等について意見交換を行った。

【意見交換の内容を一部紹介】

- 治水・利水・環境のバランスについて、今まで土砂が一つの鍵になるというのが共通認識であったが、今後は流域治水に合わせて考えていくことになると思う。
- FWを川部会の活動として位置付けるという意向がはっきりでている。
- 生きものの棲みやすい川づくりという当初からの目標は継続していくことでよいと思う。
- 矢作川流域圏懇談会で話し合ったことを具体化していく経路を考える必要がある。
- 情報を集約し、形としてアウトプットしていくことを企画しなければいけないと思う。
- これからは流域治水ということで、流域に住んでいる方々に「川をどうしていきたいか」等の視点を投げかけていくことも役割となってくるのかと思う。

みなさんが出したアイデアを確認・整理

アイデアのとりまとめの様子

会議室での意見交換の様子

2．今期の活動実績（R5.4.1～R6.11.30）

矢作川関係卒業研究の紹介について（テーマ①河道に関する課題（本川・支川））

○内田座長の研究室（愛知工業大学土木工学科）の卒業研究から、矢作川の生物に関する研究内容を5つ紹介いただき意見交換を行った。

【卒業研究テーマ】

- 矢作川水系におけるカワヒバリガイの分布
- 矢作川の瀬における底生動物の広域定点調査
- 矢作川時瀬における置土実験が造網性トビケラ類へ与えた影響
- 矢作川水系におけるコナガカワゲラ属の調査
- 矢作川水系におけるヒメドロムシ科の生息状況

卒業研究の紹介の様子

【意見交換の内容を一部紹介】

- 矢作川では、河床の攪乱不足により様々な生物に影響がでていることがわかっている。ダム湖内での砂利採取や砂防事業などが河床の攪乱不足の要因となっていると考えられる。
- アユの不漁には、カワシオグサやコケ植物、オオカナダモの繁茂が関係している。そして、これらの植物に伴って、トビケラや外来生物のカワヒバリガイなどが沢山生息するようになり、より一層、河床の攪乱不足になっている。
- 造網性トビケラ類は、河床の撹乱が増えると減る。一方で、川底に潜って生息するコナガカワゲラ属やヒメドロムシ科は撹乱が増えると増えることがわかった。

2．今期の活動実績（R5.4.1～R6.11.30）

総合土砂管理について（テーマ①河道に関する課題（本川・支川））

○土砂供給実験箇所・置土実験箇所の視察

第64回川部会（令和6年6月27日）にて、矢作川水系総合土砂管理事業の土砂供給実験箇所や置土実験箇所の現地視察を行った。実験の概要や実験において着目すべき環境についての説明によって、知見を広げるとともに会議室にて意見交換を行った。

越戸公園での説明の様子

越戸ダム下流（水管橋）での説明の様子

【意見交換の内容を一部紹介】

- 昔と今では土砂採取状況やダムの有無、水質状況等が大きく異なり、問題が複合化してきている状況であるため、客観的な数値での評価が難しいのではないか。
- 置土実験後の地形的変化や河床材料の変化、底生動物（水生昆虫・貝類）等の環境変化について定量的に評価する必要がある。
- 置土の限界量については、堆積過多であると河道管理上問題があると考えられるため、置土実施前のシミュレーションと現地状況の確認結果を踏まえて考える必要がある。

水力発電に関する情報共有（テーマ①河道に関する課題（本川・支川））

○水力発電に関する情報共有と意見交換

日本を取り巻くエネルギー資源の現状、水力発電の主な特徴、矢作川水系の水力発電等について中部電力株式会社から情報共有していただき意見交換を行った。

2．今期の活動実績（R5.4.1～R6.11.30）

流域治水について（テーマ②流域に関する課題）

○矢作川流域治水プロジェクト・協議会について情報共有・意見交換

第65回川部会（令和6年9月26日）にて、矢作川の概要や流域治水への転換、矢作川流域治水プロジェクト策定の経緯、具体的な方策等を情報共有し、意見交換を行った。

【意見交換の内容を一部紹介】

- 矢作川流域圏懇談会の議論内容を矢作川流域治水協議会において共有する必要がある。
- 矢作川は、河口ではなく氾濫原の中心に都市があり、他流域とは異なる特性を有している。こういった特性を考慮して施策を進める必要がある。
- 流域治水の事業はハード対策とソフト対策の組み合わせであることを周知する必要がある。

矢作川流域治水プロジェクトのパンフレット

○流域治水の取り組みについて情報共有・意見交換

同部会にて、岡崎市および豊田市から以下の流域治水の取り組みを紹介していただき、意見交換を行った。

- 岡崎市：ワンコイン浸水センサの実証実験について
  　　：農業用ため池の利活用について
- 豊田市：3D都市モデル(PLATEAU)を活用した水害リスクの可視化

情報共有・意見交換の様子

2．今期の活動実績（R5.4.1～R6.11.30）

【今期の活動】

第14期の川部会の活動を下記に示す。

	活動	日時	場所・内容
第14期	**第62回WG**	令和5年6月20日（火）	場所：豊田市 崇化館交流館　大会議室 内容：昨年度の活動成果と今後の活動目標 矢作川流域治水プロジェクトの進捗状況 ヨシ植え体験会in 矢作川 参加報告 市民部会発の勉強会（バスツアー）について
	第63回WG	令和5年8月22日（火）	場所：豊田市 崇化館交流館　大会議室 内容：昨年度の矢作川関係卒業研究の紹介 市民部会発の勉強会（バスツアー）について
	第15回川部会まとめの会	令和6年1月22日（月）	場所：西三河総合庁舎 402 会議室 内容：今年度の振り返りと次年度の目標 矢作川感謝祭参観レポート 矢作川カーボンニュートラルプロジェクト
	第64回WG・FW	令和6年6月27日（木）	場所：越戸公園、越戸ダム下流（水管橋） 中部電力 愛知水力センター 会議室 内容：今期前半の活動成果と今後の活動目標 水力発電に関する情報共有 土砂供給実験箇所・置土実験箇所の視察
	第65回WG	令和6年9月26日（木）	場所：豊田市 崇化館交流館　第4会議室 内容：矢作川流域治水プロジェクト・協議会について 流域治水の取り組み紹介
	第16回川部会まとめの会	令和6年10月31日（木）	場所：豊田市 崇化館交流館　大会議室 内容：今期の振り返りと来期の目標

3. 来期の活動目標（R6.12.1～R7.11.30）

【第15期の活動目標】

山・海・まちをつなぐ河川としての役割を認識し、他部会や外部団体を巻き込みつつ、行政や市民団体などが参加したくなるような部会を創造する。

まとめの会で議論

＜テーマ＞	＜活動目標＞
河道に関する課題（本川・支川）	○ 上流から海までを繋ぐ役割として、上下流共通の課題である土砂問題や生き物の棲みやすい川づくりについて、情報共有および意見交換を行う。
流域に関する課題	○ 川まちづくりに関与する行政や関係機関から矢作川流域内で取り組んでいるプロジェクトについて、情報共有していただく。 ○ 流域の課題を防災面・社会面から整理し、行政や市民団体などが参画できる場を創出する。
交流に関する課題	○ 川を通して人と人の繋がりを広げるため、本部会がプラットフォームとして機能することを目指し、外部団体（生態系ネットワーク協議会等）との連携を深める。